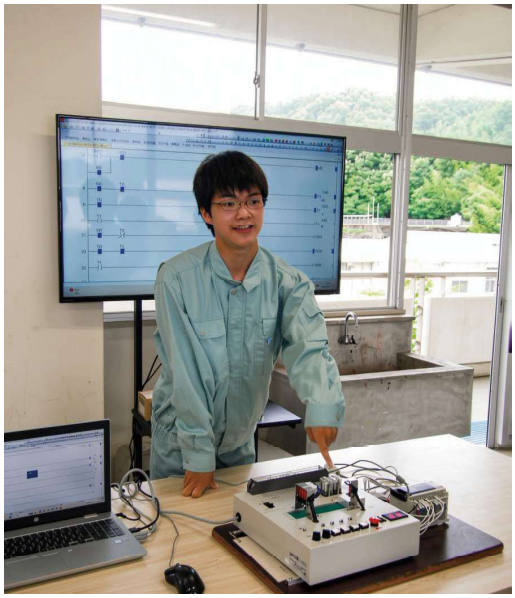
KASAOKA CITY COUNCIL

市議会かさおか

2026.11.1
190号

岡山県立笠岡工業高等学校







学校紹介

技術で学び、みんなで挑み、つながる地域
～　好きが技術になる笠工!!　～

本校は創立82年の県西部唯一の県立工業高校です。歴史と伝統を大切にしながら実践的教育を行い、地域・企業との連携学習を通して、社会で活躍できる「人財」の育成に努めています。

学校ホームページ

学校ブログ

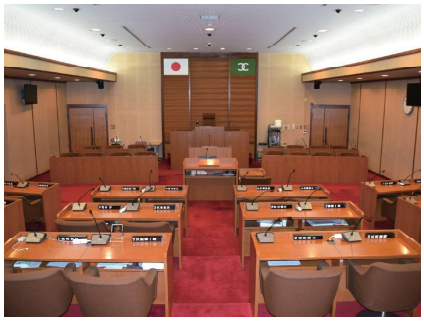






今回の市議会かさおか第190号は、笠岡工業高等学校に表紙を作成していただきました。

未来の笠岡を担う君たちへ！
市議会で体験する「議会のリアル」



開催日：令和8年6月22日（月）
場　所：笠岡市議会棟
参加者：神内小学校6年生（22名）

令和8年6月22日（月）、神内小学校の６年生 22 名の皆様が笠岡市議会棟を訪れました。

市民の代表である議員が集まって大切な議論を行う議場で、市議会の役割を楽しく学び、体験する「議場見学会」に挑戦しました！

こどもたちの生き生きとした探究の様子をレポートします！

① 市民の暮らしを支える！市議会の役割を解き明かす特別授業



「今日の目標は市議会を知ること！」という言葉をきっかけにこの日の特別授業は始まり、市議会の役割を学びました。

市議会とは市民の代表が集まり、市の「お金の使い方（予算）」や「ルール（条例）」などを決める大切な場所です。市議会議員は市民に選ばれた代表（本市では 20 名）として市のために 4 年間、市の仕事が正しく行われているか「チェック」する役割も担っています。

目の前で明らかになる市議会の姿にこどもたちは真剣な表情でした。

「そうだったんだ!」「初めて知ることがたくさんあった!」といった驚きの声が上がりました。

② 議員気分を味わう！ ドキドキの「議場体験」



授業で学んだ後はいよいよ実際の議場へ。

普段、議員が議論を交わす大切な議席に、今回座ってみたこどもたちは興味津々でした。

特に議長が座る「議長席」では、「ここに座るんだ!」と目を輝かせ、順番に議長席に座ってその雰囲気を味わいました。

厳粛な議場の空気に触れて、こどもたちはここで笠岡の重要なことが話し合われていると肌で感じたようでした。

議員の目線でまちのことを見つめる貴重な体験となりました。

③ 議員に直接質問！ 議長・副議長との「交流タイム」

見学会の締めくくりは仁科議長と大山副議長に直接質問できる「質問コーナー」！

「お仕事で大変なことは何ですか？」「どうして議員になったのですか？」「会議の時の服装は決まっていますか？」など、こどもたちからは日頃の疑問やこの日の学びから生まれた質問が次々と飛び出しました。

普段は直接話す機会の少ない議員と交流することで、こどもたちは多くの気づきを得て、市議会や議員への理解を深めてくれました。



【記念撮影】楽しかった思い出をパシャリ！

議場見学の後は、仁科議長と大山副議長と一緒に記念撮影を行いました。

こどもたちは今日の学びと体験の証として充実した表情でカメラに収まってくれました。

この貴重な体験が、未来のまちづくりについて考えるきっかけとなりましたら幸いです。



こどもたちの感想

いろいろなことを学んだし、また行きたいと思った。

今日知ったことを社会の授業でいかしていきたい。

今日は詳しく教えてくれてありがとうございます。

議会の事について楽しく、詳しく知れて楽しかった。

議会のことや議員さんのことを知れて楽しかったです。

議場がどんな場所かよく分かった。

貴重な体験をさせてもらってとても勉強になりました。

めったにできない体験をして勉強になりました。

議長・副議長活動報告　大学生が本気で考えた！
未来の地方議会をアップデートするリアル提案

地方議会はこれからの時代をどう乗り越えていけばいいのか――。
そのヒントを探しに、本市議会は若い世代の声を聞きに行きました。

きっかけは、令和７年度に岡山大学の福重教授をお招きして行った議員研修会です。

そのつながりから、福重教授が担当する授業――大学生が自ら地方議会の課題を見つけ、解決策を考える取組――に、議長・副議長が出席しました。

１班・２班・３班の3グループがそれぞれの視点でまとめた提案を発表し、市民の政治参加や議員のなり手不足、情報発信の在り方など、議会の“あるある課題”に対する鋭い視点とアイデアの数々が飛び交いました。

今回は、その提案の一部を御紹介します。







GROUP 1　未来を担う高校生と議会をつなぐ！

問題　若い世代の議会に対する関心・理解度の低さ

提案　高校生向けの議会体験プログラムを作る！

- ☑ 実際の議員とフランクに対話できる場づくり
- ☑ 模擬議会の体験を通じて当事者意識を高める

GROUP 2 多様な人材が活躍する議会へ！

問題 議員の「なり手不足」

提案 立候補のハードルを下げ、活動しやすい環境を整える

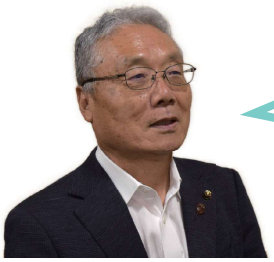
- ☑ 住所要件の見直し：居住条件だけでなく、社会的・経済的関わりも重視し、被選挙権を拡大
- ☑ 多様な働き方の支援：「オンライン議会」を促進、会社員も両立しやすい「休日議会」の開催

GROUP 3 市民に身近な議会へ！

問題 市民の議会に対する関心の低さ

提案 傍聴しやすい仕組みと SNS での発信

- ☑ 夜間・休日議会＆ママさん議会：仕事帰りや子育て世代が参加しやすい時間や場を設ける
- ☑ SNS での「見える化」：Instagram や TikTok を活用し、議会の様子をアクティブに発信



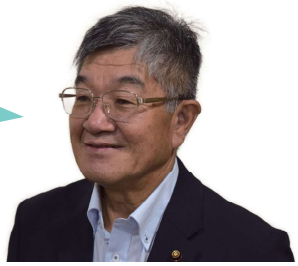
仁科文秀 議長

どの御提案も議会活動に直結しており、とても有意義でした。本市議会でも若い世代を対象とした取組に力を入れていますが、さらに SNS 活用なども考えていきたいです。

また、市民の皆様に議会を「自分ごと」として感じてもらえるよう、議会改革の取組をこれからも進めていきます。

現在、議会が直面している重要な課題について、貴重な御提案をいただきました。大学生の皆様が注目しているように、若い世代への「主権者教育」の大切さを改めて感じています。

地域を良くしたいという「志」を持つ若い世代の皆様が、これから議員に立候補し、未来を担っていただけることを心から期待しています。



大山盛久 副議長

【未来の笠岡を、共に創ろう！】

今回の発表で示された若い世代の熱意とアイデアに、本市議会も大きな刺激を受けました。これからのまちづくりには若い視点と力が欠かせません。本市議会では、主権者教育や意見交換会などの機会をさらに増やし、皆様の声を議会活動や市政運営に反映させていきます。

未来の笠岡を一緒につくる仲間として、ぜひ議会活動に参加してみてください。皆様からの声をお待ちしています！

令和７年度 決算認定

5つの要望

令和7年度決算を認定し、より良い市政に向けて5点を要望しました。

1 決算説明書の抜本的な改善

■ 決算説明書の見える化

財源措置や事業内容、委託先などを明記し、事業内容の審査・評価がしやすい決算説明書としていただきたい。

■ 成果の定量的評価

各事業について、実施状況だけでなく、成果を数字で示していただきたい。また、成果については、次年度から第8次笠岡市総合計画で定められた目標や評価基準に沿った数字で示していただきたい。

■ 事業目標・将来政策とのつながりの明確化

各事業の目的や将来の方向性を決算説明書に明記していただきたい。また、事業の終了予定や見直し時期など事業の将来的な位置づけを明記し、事業の流れが分かるようにしていただきたい。

2 子育て支援を使いやすく

一時預かり事業と乳児等通園支援事業の差別化と周知方法の見直しを進めていただきたい。また、利用環境の整備に向け、井笠圏域全体で需給を見極め、各施設と連携して取組を進めていただきたい。

3 遊休・荒廃農地の解消

遊休・荒廃農地の解消に向け、農業委員会や農業者と連携し、市が積極的に具体的な取組を進めていただきたい。また、農業者に限らず、地域全体で農地を守る仕組みづくりを進めていただきたい。

4 水道供給体制の強化

計画では海底送水管の更新を約20年後としているが、島しょ部の人口が更に減少した場合、補助金の確保が困難となるおそれがある。そのため、海底送水管の更新時期と補助金確保を検討していただきたい。

5 下水道使用料の適正化

一般会計による補填を段階的に縮小できるよう、市民生活への影響に十分配慮しながら、下水道使用料の適正化に向けた検討を進めていただきたい。

補正予算

9月補正予算として、総額1億2 ,979万円を追加しました。本紙では、主な追加予算の内容を御紹介します。

【議案第59号
令和8年度笠岡市一般会計補正予算（第3号）】

新たな移動手段づくりの効果を検証

4,000万円



人口減少や高齢化で公共交通の担い手が不足する中、医療・福祉・教育施設の送迎車両を地域の移動手段として活用し、「交通空白地」の解消を目指します。事業の効果を検証し、次年度以降の本格実施に向けた準備を進めます。

（事業名：交通空白解消パイロット・プロジェクト）

次世代の農業を担う新規就農者を支援

900万円

次世代の農業を担う新規就農者を育成・確保するため、営農開始5年以内かつ49歳以下の就農者に、農業機械導入など経営発展に必要な経費を補助します。

（事業名：新規就農者確保緊急円滑化対策事業）



不育治療の助成対象を拡大

6万円

保険適用外の不育症検査・不育治療に加え、保険適用の不育治療も助成の対象に加えます。こどもを望む人が治療の種類にかかわらず安心して治療を受け、妊娠・出産ができる体制を整えます。

（事業名：不育治療費助成事業）



不妊治療の助成対象を拡大

90万円

保険適用となる不妊治療に加え、保険適用外の不妊治療（先進医療・自由診療）も助成の対象に加えます。こどもを望む人が治療の種類にかかわらず安心して治療を受け、妊娠・出産ができる体制を整えます。

（事業名：不妊治療費助成事業）



フェリー航路の持続可能な運航に向けた分析

66万円

物価高騰や利用者減少の影響を受けるフェリー事業者について、経営状況を詳細に分析します。地域住民の生活交通や物流を支える公共交通として、安定的な航路を維持するため、改善策や必要な支援を検討します。

（事業名：経営診断調査事業）



ひと目でわかる審議結果



全会一致で可決した議案等

議案等	
議案第59号	令和8年度笠岡市一般会計補正予算（第3号）
議案第60号	令和8年度笠岡市国民健康保険真鍋島直営診療施設特別会計補正予算（第1号）
議案第61号	令和8年度笠岡市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
議案第62号	令和7年度笠岡市水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について
議案第63号	令和7年度笠岡市下水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について
議案第64号	令和7年度笠岡市病院事業会計の決算認定について
議案第65号	笠岡市火入れに関する条例の制定について
議案第66号	笠岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第67号	笠岡市立中学校及び小学校に関する条例の一部を改正する条例について
議案第68号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
議案第69号	岡山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について
議案第70号	動産の買入れについて

賛成・不賛成の分かれた議案等

賛成○　不賛成●

会派		創政みらい							讃志会					いぶき		公明党		みんなの笠岡		諸派	
議員 ＼ 議案等	賛成：不賛成	大月隆司	桑田昌哲	山下恭司	天野喜一郎	仁科文秀	宮崎秀夫	村上太志	大山盛久	奥野泰久	山本聡	西山博行	薮田誠二郎	藤井義明	妹尾博之	齋藤一信	大本邦光	真鍋陽子	守屋基範	井木守	加藤義久
議案第71号 令和7年度笠岡市一般会計歳入歳出決算ほか5件の決算認定について	18：1	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※議長は地方自治法第116条第2項の規定により、採決に加わることができません。



創政みらい
大月（おおつき）　隆司（たかし）

公共交通から「市民の移動」中心へ

質 スクールバス、デマンド交通、福祉輸送、タクシーなどを個別に考えるのではなく、市民の移動を中心に地域の輸送資源を横断的に活用する必要がある。人口減少時代に対応した「笠岡市地域モビリティー戦略」を策定し、関係部局が一体となって取り組む考えはあるのか尋ねる。

答 今後策定予定の地域交通計画を「笠岡市地域モビリティー戦略」と位置づけ、政策部を中心に庁内各部署と連携する。国の実証実験も活用し、地域の実情に応じた交通モードを組み合わせ、市民が必要なときに安心して移動できる体制を検討する。

臭気対策、改善なければ規制へ

質 市民が知りたいのは、対策を何件実施したかではなく、実際に臭気が減ったかどうかである。臭気報告アプリや移動式臭気測定器などのデータで改善効果を客観的に検証し、改善が見られない場合は、悪臭防止法や条例に基づく規制を含め、これまで以上に踏み込んだ対応を行う考えはあるのか尋ねる。

答 移動式臭気測定器により原因となる成分や量が分かってきた。農家や民間事業者と情報を共有して対策を進め、効果の公表を検討する。農政水産課が農家と臭気低減に取り組む一方、環境課が規制を担当し、役割分担しながら規制強化も検討する。





讃志会
西山（にしやま）　博行（ひろゆき）

干拓地臭気対策の総括と今後の取組

質 移動式測定器のデータ傾向分析と、2年間の臭気対策の取組に対する総括を尋ねる。

答 移動式測定器により主要な臭気成分の傾向が見えてきた。市民の不満と危機感を受け止め、データ分析を行い、規制を含めて局面を変える対策を強める。

質 改善努力を怠る畜産農家への改善命令や公表等の措置、悪臭防止法に基づく臭気指数規制の導入基準について見解を尋ねる。

答 今年度中に個別実施計画を策定する。改善が見られない畜産農家には条例や悪臭防止法の基準を明確化した上で適用し、強い改善を求めていく。

持続可能なまちづくりと空き家対策

質 空き家バンクの流通促進に向けた民間連携の進捗と、物件発掘の方針を尋ねる。

答 専門家との相談会を毎月開催するとともに、不動産業者や自治会と連携したアンケート等で新たな物件発掘と流通促進に努める。

質 補助金削減を踏まえ、若者や子育て世代に選ばれる今後の魅力的な住環境づくりへの戦略的な再投資について本市の考えを尋ねる。

答 まちなみづくり支援事業補助金等により空き家除去や共同住宅の建設を支援し、若者・子育て世代に向けた魅力的な住環境づくりの取組を推進する。





みんなの笠岡

守屋（もりや） 基範（もとのり）

農業振興について

質 ①米価の急激な下落に対応する本市のふるさと納税米の買取の金額及び方法について尋ねる。②老朽化した農業用施設の更新について尋ねる。③農業者同士の情報交換の場について尋ねる。

答 ①ふるさと納税米の買取金額は、JAが11月に提示する予定の概算金を基に決定する。それまでは各農家で保管していただくよう通知を行う予定である。②優先順位を踏まえ、財源を確保しつつ、意見を聞きながら検討を進める。③認定農業者の集まりについては、意見交換の場として再開に向けて進めていきたい。



小規模多機能自治について

質 ①地域担当職員の役割について尋ねる。②地域組織の再編に伴う拠点施設の位置づけと事務局人材について尋ねる。③担い手としての地域おこし協力隊インターン制度の活用について尋ねる。

答 ①地域担当職員の役割はコーディネーター役として、地域に寄り添った伴走支援に努めることである。具体的な役割は地域によって様々であるため、明文化していない。②モデル地区として小規模多機能自治を進める場合、拠点施設の検討が必要と考えている。地域の事務局を担う人材には相応の対価を支払うべきだと考えている。③地域おこし協力隊インターン制度は、応募検討者が地域活動に関わりながら信頼関係を築く有効な取組であるため、地域おこし協力隊インターンとまちづくり協議会の連携が重要である。



いぶき

妹尾（せのお） 博之（ひろゆき）

離島航路補助金の対象について（住吉港から神島外浦港）

質 国は「住吉港～神島外浦港」を補助対象外と判断した。島民の生活への影響はもとより、観光客による経済効果の減少も懸念される。市の見解を尋ねる。

答 バス便があるため、補助対象の要件に該当しないとして、国は令和9年9月末で国庫補助を打ち切るとしている。この判断は到底受け入れられるものではなく、市長自ら国土交通省へ出向き異議を申し入れた。今後も、国庫補助継続を粘り強く訴える。



海上タクシーの運行について

質 海上運送法の改正で、海上タクシーは一般不定期航路事業への登録が必要となった。離島でのイベント等への人員輸送や救急搬送の取扱いはどうなるのか尋ねる。

答 市内の船舶事業者は令和9年3月の経過措置期間満了までの登録完了を目指している。登録状況を確認し、適切な業者へ配船を依頼して利用者の安全・安心の確保に努める。

質 海上タクシーは島民の生活に欠かせない。事業者だけの問題とせず、市も問題解決に取り組むべきだと考えるが、市の見解を尋ねる。

答 海上タクシーは島民の生活を守る最後のとりでである。島民や事業者の声に耳を傾け、できる限りの支援をし、守っていく覚悟である。



公明党

齋藤（さいとう） 一信（かずのぶ）

笠岡市公営住宅等長寿命化計画の中間見通しについて

質 市営住宅を退去する際、入居者が設置したプレハブや物置などの増築物等について、撤去費用を捻出することが困難な方もいる。こうした増築物等の撤去が移転の障壁となる場合、市営住宅の建て替えや既存住宅の解体計画に影響を及ぼすことが懸念される。この課題について、どのように解決していくのかを尋ねる。

答 富岡住宅の建て替えは住民の協力が不可欠であり、構造物の撤去については本市が対応できるよう、他市の事例を研究している。



新病院建設事業に係る再検討内容について

質 人口減少が進み、厳しい財政状況が続く中、市役所と市民病院という2つの大規模公共施設について、別々に整備するだけでなく、同一敷地や隣接配置、一部機能の併設なども含む一体的整備の可能性調査を行う考えはないか尋ねる。

答 一体的整備は市民と本市にメリットのある選択肢として現在研究をしている。実現が難しい場合でも、本市として市民のための医療機関の役割を担う考えに変わりはなく、病院の建て替えには早急に取り組む。

議会って、意外と身近！

市議会モニターが議会を傍聴しました



令和８年度から始まった「笠岡市議会モニター」制度
高校生のモニターが９月定例会を傍聴してくれました！

市議会モニターの声

市政は他人事じゃない！

臭気対策や空き家問題など、
暮らしに身近なテーマが議論されていました。

私たちの声も市政に届く！

議員さんが市民の声を議会に届け、
話し合っていることを知りました。

もっと市政を知りたくなった！

初めての傍聴でしたが、
笠岡の課題を知ることができました！



桑田　昌哲（くわだ　まさあき）

下水道の持続可能な経営について

質 特定環境保全公共下水道の収支概要について、一般会計からの補填を除いた現在収支の状況をどのように考えているか。

答 経費回収率は令和6年度決算で 43.5%であり、汚水処理費が下水道使用料で賄えていないため、経営状況は厳しいものと認識している。

質 汚水処理原価グラフや財政計画を確認すると、経費の見込みと収益状況の前提が不十分ではないか。



答 過去の数値から推計している。今後、矢掛町との処理費用や処理量、使用水量の推移を毎年確認しながら見直しを行う。

質 本市が今後の整備計画を縮小した場合、矢掛町に支払う更新や工事費用の負担は下げることができるのか。

答 整備計画を縮小・見直しをする場合には、矢掛町と協議を行うことになる。

笠岡地区農道離着陸場活性化ビジョン推進について

質 本市は利活用を検討している民間団体を一時的な利用者としているのか、それとも活性化を担うパートナーとして位置づけ、段階的な業務委託を進める考えがあるのか尋ねる。

答 具体的な活用方法を御提案いただければ、市としても検討し、可能性を含めて県へ相談しながら進めていきたい。



加藤　義久（かとう　よしひさ）

大規模災害への備えについて

質 熊本地震に際し、本市として熊本地方への支援を実施したのか。その具体的な内容は何か。それを庁舎内で共有し、今後どう生かしていくのか。

答 岡山県と市町村合同による被災地支援チームの一員として、職員1名を熊本県八代市へ派遣した。同市内の避難所において、運営全般の業務に従事した。帰庁後には、市長や関係部長に報告、また、部長会議を通じて各課へ伝達した。さらに、派遣職員による防災研修を行い、被災地の状況等を含めて情報を共有し、職員の意識向上に努めた。

質 南海トラフ巨大地震も心配だが、活断層のずれにより発生した熊本地震の災害規模を教訓に、本市近隣にある「長者ヶ原ー芳井断層」に注視し、対策を講じておく必要があるのではないか。

答 ご指摘の「長者ヶ原ー芳井断層」は最大震度6強をもたらし、人命や建物に甚大な被害を及ぼすと想定されている。地域防災計画においても重要な想定災害として位置づけており、住宅の耐震化の促進、防災拠点・避難所の整備、備蓄の充実、ライフライン対策、緊急輸送道路の確保など、断層型地震を念頭に置いた対策に取り組んでいる。

質 本市は災害対応の拠点として、市民や職員等の安全を守る必要があることからも、新庁舎建設への歩み（基本構想の策定、パブリックコメントの実施）を進めているが、昨今の災害発生状況から見て、もっと迅速に進められないか。



答 本庁舎は災害対応の拠点として市民の安全・安心を守るため、一日でも早く実現できるよう可能な限り早期の完成を目指していく。



井木（いぎ） 守（まもる）

介護保険法改正の本市への影響は…

質 ①法改正で「特定地域」と「特定地域サービス」が設けられるが、本市において「特定地域」の対象となる地域はあるのか。②「特定地域サービス」では人員配置基準等が緩和されるが、利用者の安全や介護の質は担保されるのか。③「特定地域居宅サービス事業」を委託も含めて、本市でも行う予定があるのか。

答 ①国の基準などは示されていないが、島しょ部が「特定地域」になる可能性がある。②制度を活用する場合は、サービスの維持と質の確保を両立させることが重要であると考えている。③国から詳細が示されていないため、第10期介護保険事業計画の策定に当たっては、新たな制度の活用についても国の動向を確認しながら検討していく。



熊本地震などの教訓を生かした災害対応を

質 ①熊本地震を受けて、政府は体育館へのエアコン設置の前倒しを決めた。この機に一気に進めるべきではないか。②飲料水だけでなく、洗濯やトイレなどの生活用水の確保も課題である。災害用井戸等の整備状況を尋ねる。③災害のたびに自治体のマンパワー不足が指摘されるが、本市の体制を尋ねる。

答 ①児童・生徒の熱中症のリスクを回避し、教育活動を確保することに加え、避難所としての機能強化にもつながるので、4か年の計画で整備を進める。②市内の寺院との包括協定を結んだが、市内全域の井戸の所在地などの調査はできていない。生活用水が確保できる体制づくりを進める。③重要な課題と認識している。マンパワー不足を補うため、関係機関との連携・協力体制を図っている。



山本（やまもと） 聡（さとし）

本市のデジタル化の進捗状況について

質 市民サービスの利便性向上や複雑化する事務への対応を目的としたデジタル化の進捗状況を尋ねる。

答 全庁的な取組を進めている。具体的には①マイナポータルによるオンライン申請を開始。②公式LINEを活用した申請システムなど、複数のオンライン申請の手段も整備。

スポーツ環境の整備を通じた運動人口の増加について

質 運動の習慣化は、健康増進や介護、フレイルの予防に寄与する。総合スポーツ公園、運動公園、古代の丘スポーツ公園の今後の整備計画及び健康モニタリングアプリの導入、民間事業者とタイアップした公園設備の可能性について尋ねる。

答 第2次笠岡市スポーツ推進基本計画に基づき、笠岡総合スポーツ公園のかさしんアリーナ（総合体育館）の全館、運動公園の笠岡中央病院体育センター（市民体育センター）の多目的室、談話室及び格技室に冷房設備を整備。屋外には照明設備の LED 化、休息用ベンチも設置した。今後も、利用実態等を勘案しながら検討したい。健康モニタリングアプリ導入の計画はないが、健康応援大使の大内尉義先生の知見や助言による健康増進、フレイル予防を進めていきたい。民間事業者とタイアップした公園整備は、公園の機能強化につながるため、事業採算性や地域ニーズを把握しながら民間活力の活用方策を研究していく。





宮崎　秀夫（みやざき　ひでお）

学校給食における食材の質の確保について

質 令和8年4月から国による給食費の負担軽減が始まった。①給食センターで使う食用油を米油から変更した時期・経緯・選定理由と経費への影響を尋ねる。②食材や調味料の品質をどのように評価・選定しているのか。③食材そのものの品質は「給食の質」に含まれるのか。

答 ①物価高騰の影響を吸収するため、令和7年9月に米油から大豆白絞油へ、令和8年1月にキャノーラ油へ変更した。米油は1缶 7,135 円（令和7年4月時点）、キャノーラ油は 4,315 円（令和8年9月時点）で、年間約100万円の差となる。揚げ物などの仕上がりの遜色はないとの報告を受けている。②食材の購入は小中学校長や栄養教諭らで構成する委員会で品質・味・価格を確認しているが、食用油の変更は委員会に諮らず給食センターで決定した。③食材の品質は給食の質に含まれると認識している。

質 原材料や製法を評価する品目別の基準が明文化されていない。価格や味に加え、原材料や製法も確認項目に位置づけ、判断の記録を残してはどうか。また、調味料の原材料や規格をホームページで公表する考えはないか尋ねる。

答 選定基準は明記していないが、成分表で原産地や添加物の有無などを確認している。提案の項目は給食センターや教育委員会で検討したい。調味料の原材料や規格を公表することについても、どのような形で提供できるか研究したい。





薮田　誠二郎（やぶた　せいじろう）

道の駅笠岡ベイファーム再整備事業の進捗と笠岡湾干拓地の未来について

質 事業化検討及び民間活力導入可能性調査等業務のコンサルタント会社の選定結果と進捗状況を尋ねる。

答 本年7月にコンサルタント事業者と契約を締結した。今後は地質測量調査と民間活力導入可能性調査を実施し、基本計画を策定する。

質 リニューアルを通じ、干拓地全体の魅力や自然環境、空飛ぶクルマのような新しい可能性があふれた場所にするため、市民と一緒にどのように取り組んでいくのか尋ねる。

答 再整備は干拓地全体の魅力を高める重要な取組である。パブリックコメント及び利用者アンケートを実施し、広く市民の声を聞く。笠岡地区農道離着陸場との連携も含め、サウンディング調査を通じ、笠岡らしさを基本に考え、検討を進める。



ふるさと納税（ふるさと笠岡思民寄附金）の分析とファンづくりについて

質 ふるさと納税の取組状況と運用についてどのように評価・分析しているのか。また、本市のファンになってもらうための取組を尋ねる。

答 米の需要増加や返礼品の拡充等により、令和7年度の寄附額は約7億2,100万円（前年度比133%）と伸長し、財源確保や地場産業育成に寄与できた。今後は米以外の主力品として果物等の強化を図る。ファン化に向けては、観光パンフレット同梱やメルマガ配信、大都市圏のイベント参画等を通じ、情報発信と関係創出を推進する。



真鍋（まなべ）　陽子（ようこ）

就労選択支援の現状と課題について

質 ①令和7年10月に始まった就労選択支援について、井笠地域に事業所がない現状をどう認識しているのか。②事業所が近隣にない場合の対応について③移動支援について④笠岡市相談支援ファイル「かけはし」の活用について⑤福祉支援におけるプッシュ型支援システムについて尋ねる。

答 ①現在、井笠地域には事業所がなく、市外の事業所への移動は本人や家族にとって大きな負担になっていると認識している。②原則として就労選択支援の利用が必要とされる場合でも、通うことが難しいときや近隣に事業所がない場合は、個々の状況を丁寧に聞きながら対応する。③先駆的な取組を行う自治体のやり方も研究していく。④部局を超えた連携をしながら活用方法を考えていきたい。⑤関わっている支援者からの丁寧な情報提供が大事である。

学校プールと水泳授業の在り方について

質 猛暑や施設の老朽化が進む中、今後の学校プールと水泳授業の在り方について尋ねる。

答 今年度の水泳授業の実施率は81%。学校プールは老朽化しており、全てを改修・更新することは財政面から非常に厳しい。今後は学校プールの在り方を見直す必要があると認識しており、熱利用施設や市内・近隣の民間施設等の利活用も含めて検討する。



その他、「包括的性教育とプレコンセプションケアの一体的な推進」などについて質問しました。



藤井（ふじい）　義明（よしあき）

国営笠岡湾干拓事業負担金に係る延滞金について

質 前市長時代の干拓負担金に係る延滞金約8,000 万円の滞納処分の停止を取消し、再開するとの説明があったが、その後の経過を尋ねる。

答 対象者4名に対して滞納処分停止取消し通知書を直接手渡し、法務局において差押えの嘱託登録を行った。それにより1名は全額納付された。残り3名については、完済に向けた分割納付や差押物件の公売時期等について相談を行っている。



公共下水道事業について

質 ①令和6年度決算では公共下水道の経常収支比率が 102.3%である一方で、経費回収率は83.2%であり、使用料収入で汚水処理費が賄えていない。今後どのように経営改善を進めるのか尋ねる。②笠岡市下水道事業経営戦略では下水道使用料改定の必要性を検討するとあるが、いつ検討するのか尋ねる。

答 ①基準外繰入金が発生しない事業運営を目指しているが、今後は健全経営に向けて繰入金を見直していく。②物価高騰による市民生活への影響が大きいため、改定時期は検討する。

質 地区ごとに公共下水道と合併浄化槽のどちらの整備を進めていくべきか経済比較を早急に行うべきではないか。

答 笠岡市下水道基本構想の見直しを進める。

12月定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23	24	25 ・予算決算委員会協議会 ・予算決算委員会理事会	26 ・議会運営委員会	27	28
29	30	12/1	2	3 ・本会議初日 （議案上程ほか）	4 ・本会議2日目 （個人質問）	5
6	7 ・本会議3日目 （個人質問）	8 ・本会議4日目 （個人質問）	9 ・本会議5日目 （諸議案質疑以下） ・予算決算委員会	10 ・総務文教委員会 ・総務文教委員会協議会	11 ・厚生産業委員会 ・厚生産業委員会協議会	12
13	14	15	16 議会運営委員会	17 ・本会議最終日 （議案採決ほか）	18	19

※赤字の会議は生放送予定です。日程は11月26日の議会運営委員会で決定します。
会議は各日とも9:30から開始します。ただし、11月25日のみ13:30からの開始となります。

笠岡商業高等学校へ感謝状を贈呈しました

令和8年8月1日に発行した市議会かさおか第189号の表紙は、笠岡商業高等学校の生徒7名が「地域ビジネス探究」の授業の一環として作成しました。

生徒の皆様はグループで協力しながらデザインツールを活用し、表紙デザインに挑戦してくれました。

そんな生徒の皆様への感謝を込めて、議会から感謝状と記念品を贈呈しました。



どこから始めればいいかわからなかったけど、テンプレートやイラストがあったので作りやすかったです！

check!

QRコードを読み取ると表紙を見ることができます。



感謝状と記念品を手にする生徒の皆様

編集の窓

子育て支援や介護認定、道路補修など、市の行政サービスは、市民の皆様からの申請や相談をきっかけに動き出すものが多くあります。議会は市民と行政をつなぐ役割を果たし、必要な支援が公平・公正に行き渡る仕組みづくりに取り組んでいます。住み良いまちづくりを実現するためには、市政への関心を持ち、皆様の声を議会へお寄せいただくことが重要です。私たちはその声を真摯に受け止め、より良いまちづくりに向けて全力を尽くしてまいります。

広報公聴委員会

◎齋藤　一信　○桑田　昌哲
大山　盛久　西山　博行
藤井　義明　村上　太志
宮崎　秀夫　山下　恭司
山本　聡

委員長：◎　副委員長：○